

東京水道長期構想

STEP II

世界に誇る安心水道



平成18年11月

 東京都水道局

世界に誇る安心水道



東京都水道局



東京都水道局長

御園 良彦

策定に当たって

水道は、いつの時代においても都民生活や都市活動にとって、欠かすことができない重要なライフラインです。水道局では、これまで安定給水を確保するため、課題の解消に向けて、様々な取組を推進してきました。

平成9年には、「東京水道新世紀構想－STEP 21－」を策定し、貯水池の耐震化や利根川水系浄水場への高度浄水処理の導入、送配水幹線のネットワーク化など、着実に水道施設のレベルアップを図ってきました。

しかし、近年、お客さまの「蛇口離れ」が進んでいることから、安全でおいしい水への取組を更に強化するなど、水道水の信頼性をより一層向上させていくことが求められています。

施設整備の面を見ても、依然として、都の水源は濁水に対する安全度が低いなどの課題を抱えているほか、老朽化による機能低下やバックアップ機能が不足するものなどが含まれています。また、今後、大規模浄水場の更新期の到来などの課題に着実に対応していく必要があります。

首都圏では、首都直下地震の切迫性が叫ばれる中、平成17年に中央防災会議から首都直下地震対策大綱が示され、首都中枢機能を支えるライフラインとして、水道の耐震化の重要性が改めて指摘されています。震災に備えた施設の耐震化は急務の課題であります。

更に、職員の大量退職に伴う技術継承問題等への対応や地球温暖化などの環境問題への対応も迫られています。

特に、環境問題は、京都議定書により具体的削減目標が設定されるなど、ますます厳しさを増しており、東京都では、2016年のオリンピック招致に向けて「CO₂半減都市モデル」の実現を目指すこととしています。

STEP 21の策定からおおむね10年が経過し、こうした状況の変化を踏まえ、お客さまにより高いレベルの給水サービスを提供していくため、「東京水道長期構想 STEPⅡ ～世界に誇る安心水道～」を策定することとしました。

この構想は、STEP 21で掲げた基本的方向を踏襲するとともに、今年7月に「首都東京にふさわしい将来の水道システムを考える会」から受けた報告書「都民生活と首都東京を支える東京水道の構築に向けて」を反映したものです。

この構想の「STEPⅡ」とは、「STEP 21」のレベルアップという意味を込めた「Ⅱ」と、「都民生活を支える水道」と「首都東京の機能を支える水道」という二つの基本的視点を表す「Ⅱ」とを意味しています。

水道局は、この長期構想に基づき、積極的かつ着実な事業展開を図っていくとともに、広く皆様に東京水道の目指すべき方向を明らかにして、お客さまと強固な信頼を築き、「世界に誇る安心水道」を目指していきたいと考えています。

平成18年11月



目 次



第1章 構想の目的と位置付け	1
1 目的	2
2 位置付け	2
3 構想策定の背景	2
第2章 首都東京にふさわしい将来の水道システム	5
1 東京の現状	6
2 東京水道のあるべき姿	16
第3章 東京水道の現状と課題	19
1 水質の確保	20
2 安定給水の確保	28
3 施設の更新及び維持管理	35
4 環境対策	38
5 お客さまサービス	42
6 水道技術の研究開発及び継承	47
7 国際化への対応	50
8 広域化・広域連携	51
第4章 東京水道の進むべき六つの方向と施策の展開	53
1 豊かな暮らしを支える水道	60
2 断水のない高水準な水道	72
3 次世代につなげる水道	85
4 地球環境に配慮した水道	90
5 分かりやすく親しみやすい水道	95
6 水道界をリードする水道	105
業務指標と目標について	116
第5章 更なるレベルアップに向けて	123
資 料	127